

エンドユーザー使用許諾契約 (EULA)

ABBYY® FineReader® PDF 15

重要！ ABBYY® FineReader® PDF 15（以下「ソフトウェア」）をインストール、コピー、または使用する前に以下の条件をよくお読みください。本ソフトウェアをインストール、コピー、または使用すると、お客様は下記の条件を受諾したことになります。

本エンドユーザー使用許諾契約（以下「本契約」）は、本ソフトウェアを取得または使用するエンドユーザーであるお客様とABBYYとの間で締結される法的同意書です。

このエンドユーザー使用許諾契約は、お客様がコンピュータ画面上の [次へ] を選択した後に表示される [使用許諾契約の条項に同意します] のボタンを選択し、本契約に記載されるすべての条件を受諾された時点、あるいはインストール、コピー、または何らかの方法でソフトウェアの使用を開始した時点で効力が発生します。上記の行為を取ることで、お客様は本契約を読んで理解し、本契約条件の遵守に同意したと見なされます。お客様が本契約条件に同意しない場合は、本ソフトウェアをご使用にならず、無効化してシステムから削除し、本ソフトウェアのコピーをお持ちの場合はすべて破棄してください。本契約は、本契約またはABBYYとの別途の書面による合意に別段の記載がない限り、お客様が本ソフトウェアを使用する全期間において拘束力を持ちます。

本ソフトウェアは著作権法および著作権に関する国際協定条約によって保護されているほか、特許法および企業秘密法によって保護されている部分もあります。お客様は、ご自身で署名された協議済み契約書と同様の法的効力を本契約が有することに同意するものとします。本契約はお客様に対して法的強制力を持ちます。

本ソフトウェアに関する別の書面による合意がABBYYとの間で締結され、その合意と本契約との間に矛盾がある場合は、本契約の矛盾する条項よりも別の合意の条項が優先するものとします。発注書またはその他の文書に記載されている契約条件は、本契約を変更したり、ABBYYの義務を拡張したりするものではありません。

EULAは複数の言語で提供されています。EULAの英語版とその他の言語に翻訳されたものとの間に齟齬や相違点が生じることがあります。均一性を図り、曖昧さを避けるため、EULAに関連して発生するすべての争議、請求、訴訟手続きでは、英語版のEULAが適用、解釈、施行されるものとします。

定義

「ABBYY」とは

本EULAの第16.1条は以下の企業に適用されます：ABBYY USA Software House, Inc. (890 Hillview Court, Suite 300, Milpitas, California, 95035, USA)

本EULAの第16.2条は以下の企業に適用されます：ABBYY Japan Co., Ltd. (222-0033 神奈川県港北区新横浜2-5-14)

本契約の第16.3項が適用される場合は、ABBYY Europe GmbH (Landsberger Str. 300, 80687 Munich, Germany)

本EULAの第16.4条は以下の企業に適用されます：ABBYY UK Ltd. (Centrum House, 36 Station Road, Egham, Surrey, TW20 9LF, United Kingdom)

本EULAの第16.5条は以下の企業に適用されます：ABBYY PTY Ltd. (Level 13, 2-26 Park Street, Sydney NSW 2000, Australia)

本EULAの第16.6条は以下の企業に適用されます：ABBYY Production LLC (ul. Otradnaya dom 2B, korpus 6, office 14, 127273, Moscow, Russia)

その他の場合はABBYY Solutions Ltd. (Michail Karaoli 2, Egkomi CY 2404, Nicosia, Cyprus)を指します。

「**ABBYY パートナー**」とは、ABBYY により本ソフトウェアを直接的または再販業者もしくは流通業者を通じて間接的に、エンドユーザーに対して再販および販売するライセンスを提供されている組織または個人を意味します。

「**アクティベーション**」とは、お客様のシリアル番号が有効で、ライセンスの範囲で許可されている台数を超えるコンピュータでアクティベートされていないことを確認するプロセスを指します。ソフトウェアのエンドユーザーであるお客様は、承認を受けたソフトウェアのエンドユーザーであることを確認するため、このプロセスを実行することが求められます。本ソフトウェアは、インストール後にアクティベーションを要求する場合があります。アクティベーションが必要な場合、本ソフトウェアは動作しないか、限定された期間および限定された機能でしか動作せず、該当する制限された期間が経過すると予告なしに機能を停止することがあります。

「**コンピュータ**」とは、1つ以上のCPU（中央処理装置）コアを持ち、指定されたオペレーティングシステムを実行する物理デバイスまたは仮想マシンを指します。コンピュータの設定や構成部品を変更（ハードドライブのフォーマットやOSの再インストールを含む）すると、ライセンス許諾の点から別のコンピュータとして取り扱われる結果になりかねません。

「**知的財産権**」とはすべての知的財産権と産業所有権を意味し、(i) 発明、発見、特許証の権利を含み、アプリケーションの再発行、継続および部分的継続 (ii) 著作権 (iii) 設計および工業的設計 (iv) 商標、サービスマーク、トレードドレスと同様の権利 (v) ノウハウ、企業秘密、機密情報 (vi) 集積回路トポグラフィ権利およびマスクワークの権利 (vii) その他の専有権利を含みます。

「**ライセンス**」とは、本ソフトウェアの機能をインストールして使用できるようABBYYが本契約条件に基づいてお客様に許諾する、制約付きの非独占的な権限です。

「**シリアル番号**」とは、お客様のライセンスまたは同様のパラメータを持つライセンスセットの一意識別子を指します。

「**ソフトウェア**」とはABBYYのソフトウェアであるABBYY FineReader PDF 15のほか、オンラインなどの方法で利用できるよう提供されているすべてのソフトウェアコンポーネントも含まれ、実行可能ファイル、ヘルプ、デモ、サンプルをはじめとするその他のファイル、ライブラリ、データベース、サンプル、関連するメディア（画像、写真、アニメーション、オーディオコンポーネント、ビデオコンポーネントなど）、印刷物

、その他のソフトウェアコンポーネントも含まれますが、これらに限定されません。

「お客様」、「お客様の」、および「エンドユーザー」とは、本ソフトウェアを再販目的ではなく自身の使用目的で取得した、本ソフトウェアの実際のユーザーである任意の人物および任意の団体（またはそのいずれか）を指します。

1. ライセンスの許諾

- 1.1. 本契約の諸条件に従い、ABBYYはお客様に対し、ソフトウェアの機能をインストールして使用する制限付きの非排他的ライセンスを許諾します。同ライセンスの制限と範囲はすべて、本契約、ABBYYより提供されるソフトウェアおよびハードウェア（またはそのいずれか）のライセンスキー、本ソフトウェア、および（または）お客様とABBYYまたはABBYYパートナーによる別の書面による同意、および（または）購入の際に付随する書面に基づきます。この場合、お客様とABBYYパートナーとの間の個別の書面による合意は、本契約および/またはABBYYとの個別の合意で付与されたライセンスの範囲および制限を超えたり、ABBYYに追加の義務を課すことはありません。本ソフトウェアの購入に付随するABBYYパートナーの文書は、本契約、ABBYYとの別の合意、本ソフトウェアの使用および/または購入の条件に関するABBYYの書面による文書の条件を否認するものではありません。

ここに記載されている規約はソフトウェア全体、およびその別個のコンポーネントやエンドユーザー向けドキュメンテーションに適用されますが、第15条に定義されているとおり、本ソフトウェアに組み込まれているサードパーティ製のソフトウェアは例外であり、独自の規約が適用されます。お客様のライセンスの範囲に関する問題はすべて、ライセンスの範囲に対する制限が優先的に解釈されるものとし、本ソフトウェアの使用やライセンスの範囲に関する制限には以下が含まれますが、これに限定されるものではありません

- 1.1.1. コンピュータの台数、個々のユーザー数、ネットワークアクセス数。お客様が取得したライセンスの範囲は、ソフトウェアをインストールして使用するコンピュータの台数、ソフトウェアの個別ユーザー数、ネットワークアクセスによって制限されるほか、取得したライセンスの種類によって異なります。取得されたライセンスの種類は、お客様とABBYYまたはABBYYパートナーによる別の契約、および/または本ソフトウェアの購入に付随する文書で規定されています。ソフトウェアのインストール後は、ライセンスの種類をソフトウェアのインターフェイスのヘルプメニューで確認できます。

- 1.1.1.1. お客様のライセンスの種類が「単独ユーザーライセンス」 / 「スタンドアロン」で、お客様が法人である場合、本契約、ABBYYとの別の合意、またはソフトウェアの購入に付随する文書に別途規定がない限り、1台のコンピュータにソフトウェアをインストールおよび使用します。お客様のライセンスの種類が「単独のユーザーライセンス/ スタンドアロン」でお客様が自然人である場合、ソフトウェアを1台のデスクトップコンピュータ、および1台のポータブルコンピュータ（ソフトウェアをシステム要件に従ってインストールおよび使用できる）ラップトップまたはその他のポータブルデバイスにインストールして使用します。本ソフトウェアを2台のコンピュータで同時に使用することはできません。いかなる時も、インストールされたコンピュータ上で直接本ソフトウェアを使用するか、リモートアクセスを介して1台のコンピュータのみから本ソフトウェアにリモートでアクセスします。

- 1.1.1.2. ライセンスの種類が「シートごと」の場合、お客様が取得したライセンスの数に従って、お客様が所有するコンピュータに無制限でインストールおよび使用できます。いかなる時も、本契約、ABBYYとの別の合意、または本ソフトウェアの購入に付随するABBYYの文書に別途規定がない限り、インストールされた本ソフトウェアのコピーにアクセスできるのは1台のコンピュータ

からだけです。

- 1.1.1.3. ライセンスの種類が「ネットワークライセンス / 同時」の場合、本契約、ABBYYとの別の合意、または本ソフトウェアの購入に付随するABBYYの文書に別途規定がない限り、お客様が取得したライセンスの数に従ってお客様が所有するコンピュータに無制限で本ソフトウェアをインストールして同時に使用することができます。
- 1.1.1.4. ライセンスの種類が「リモートユーザー」の場合、お客様が所有、レンタル、または合法的に取得および/または使用するリモートアクセスまたは仮想化のソリューション（以下「ソリューション」）を介して本ソフトウェアを使用することができます。ソリューションのサーバー/ホストとして機能する任意の数のコンピュータに本ソフトウェアをインストールすることができます。インストールされた本ソフトウェアは、お客様が取得したライセンスの数と同じ数の個人（ソリューションの名前付きユーザー）がクライアントコンピュータからリモートアクセスを通じて使用することができ、本契約、ABBYYとの別の合意、または本ソフトウェアの購入に付随するABBYYの文書に別途規定がない限り、お客様は本ソフトウェアを使用するユーザーごとにライセンスを取得する必要があります。いかなる時も、各個人がリモートから本ソフトウェアを使用することができるのは1台のコンピュータからだけです。
- 1.1.2. 第16.6項が適用され、お客様がABBYY FineReader PDF 15 Standardを使用している場合、本ソフトウェアは非商業目的で自宅の個人用コンピュータでのみ使用するものとします。本ソフトウェアを法人、公的機関、もしくは自治体が所有するコンピュータにインストールしないでください。そのような組織による本ソフトウェアの商業目的での使用は禁止されています。
- 1.1.3. 処理量ライセンスに明記されている場合は、本ソフトウェアで処理することができる数量単位（例：ページ、語、記号）は、1つ以上の方法で制限されている場合があります。たとえば、月間あるいは年間といった特定の期間内に処理される数量単位数、または処理される数量単位の全体数などです。ページのサイズまたは他のボリュームユニット、および処理に使用されるプロセッサコアの数も制限される可能性があります。
- 1.1.4. 期間本ソフトウェアの使用は、ライセンスまたはABBYYまたはABBYYパートナーとの別の合意、および/または本ソフトウェアの購入に付随する文書で規定されている場合、特定の期間に限定される場合があります。こうした期間超過後は、本ソフトウェアを使用できない場合があります。
 - 1.1.4.1. サブスクリプションベースで本ソフトウェアを取得した場合は、第1.1.1項、第1.1.2項、第1.1.3項および第1.1.4項で規定されている制限に加えて以下の制限が適用されます。本ソフトウェアは、制限されたサブスクリプション期間だけ使用できます。サブスクリプション期間は、サブスクリプションがキャンセルされるまで、自動更新されます。サブスクリプション期間の失効後は、サブスクリプション更新の支払いを行うまでソフトウェアの機能を利用できなくなるか、機能が制限されます。サブスクリプションベースのソフトウェアの使用に関する追加利用規約がお客様とABBYYまたはABBYYパートナー間で書面による別途の契約に規定されている可能性があります。その場合はソフトウェアをサブスクリプションベースで取得（購入）する前にこの契約書に同意する必要があります。

- 1.2. お客様は、本ソフトウェアが無認可のコピーや無制限の使用から保護されており、そのような保護を提供するシリアル番号が含まれる場合があることを認め、本ソフトウェアがこうしたすべての保護の対象であることに同意します。お客様のシリアル番号はアクティベーションが必要な場合があり、お客様が利用できるアクティベーションの数には制限があることがあります。追加のアクティベーションは、第7条に規定されているとおり、お客様が取得（購入）した本ソフトウェアのバージョンのテクニカルサポート期間中にABBYYテクニカルサポートサービスに連絡することで要求できます。取得（購入）したソフトウェアバージョンのテクニカルサポート期間が終了すると、追加のアクティベーションが利用できなくなる可能性があります。
- 1.3. お客様に対して本契約内で明示的に許諾されない権利はすべてABBYYによって留保されます。本契約によってABBYYの商標に関する権利がお客様に対して許諾されることはありません。
- 1.4. お客様が第16.6項に該当する自然人である場合、世界中で本ソフトウェアを使用できます。お客様が法人である場合、お客様とABBYYとの間に書面による別段の合意がない限り、お客様またはお客様の支店および/または代理店が第16.6項に一覧されている国に登録されている場合に限り、これらの国でソフトウェアを入手（購入）することができます。ソフトウェアが法人またはその支社や代理店が登録されている国で取得およびインストールされた場合に限り、法人またはその支社や代理店の社員は世界中でソフトウェアを使用できます。
- 1.5. 本契約条件の範囲外における本ソフトウェアまたはそのコンポーネントの使用、または本契約条件に違反した使用は、ABBYY および第三者（またはそのいずれか）が有する知的財産権の侵害に該当し、本契約に基づいてお客様に対して許諾した本ソフトウェアのすべての使用権の取り消しの根拠となります。
- 1.6. VMware、Citrixを含み、これに限定されない仮想環境に本ソフトウェアを配置および/または使用する場合、本ソフトウェアの制限または提供されたライセンスの範囲を超えずにアクセス、または使用しなければなりません。たとえば、仮想環境で本ソフトウェアへのアクセスまたは使用できるよう、ライセンスを適切に取得して許可される台数を超えるコンピュータに同じシリアル番号を使用したり、許可された合計ページ数よりも多くのページを処理するために本ソフトウェアを使用してはなりません。
- 1.7. お客様は、インターネット経由でのダウンロードを含め、複数のメディアを通じて本ソフトウェアを取得できます。受け取るメディアの数量や種類にかかわらず、お客様が許諾されるのはソフトウェアライセンスの範囲内での本ソフトウェアの使用に限られます。

2. 使用の制限

- 2.1. ABBYYパートナーの合意および文書がABBYYに追加の義務を課すことがなければ、お客様とABBYYまたはABBYYパートナーとの間の個別の書面による合意、または本ソフトウェアに付随するその他の文書に明記されていない限り、本ソフトウェアの使用に関するすべての使用条件および制限は本契約で規定されます。
- 2.2. お客様自身、またはお客様の支援を受けた他者による下記の行為を禁じます：
 - 2.2.1. リバースエンジニアリング、逆アセンブル、逆コンパイル（オブジェクトコードを複製してソースコードに変換すること）、または本ソフトウェアのソースコードやその他の部分を派生させようと試みること。ただし、本制限にかかわらず、かかる行為が適用法により明示的に許可されている場合は唯一の例外とします。かかる行為を制限することが適用法によって禁止されている場合、法律によって求められる場合を除き、この行為によって明らかになった情報を第三者に開示してはなりません。また、かかる情報については速やかにABBYYに対して開示するものとします。このような情報はすべてABBYYの専有面機密情報と見なされます。

- 2.2.2. 本ソフトウェアの変更、適用（本ソフトウェアをお客様のソフトウェアで実行できるようにすることを目的として何らかの変更を加えることも含める）、または本ソフトウェア、および本ソフトウェアに含まれるアプリケーションおよびデータベースのオブジェクトコードに任意の変更を加えること。ただし、本ソフトウェアにより定められ、ドキュメンテーションに記載されているものを除きます。
 - 2.2.3. ABBYYの書面による事前の承認なしで、本ソフトウェアのエラーの修正を行なうこと。
 - 2.2.4. ABBYYによる書面による別段の許可がない限り、本契約によってお客様に付与された権利および本ソフトウェアに関連するその他の権利を他人に賃貸、リース、サブライセンス、割り当てまたは譲渡すること、または本ソフトウェアの全部または一部を他のコンピュータにコピーすることを許可すること（第 2.7 項の規定を除く）。
 - 2.2.5. 本ソフトウェアを使用する権利を有していないまま、お客様と同じマルチユーザーシステム、仮想環境、またはインターネットを経由することを含め、またそれらに限定されず、第三者に対して本ソフトウェアへのアクセスまたは使用できるようにすること。
 - 2.2.6. お客様への本ソフトウェアの配布時に本ソフトウェアに表示されていた著作権、商標、または特許についての注意書きの削除や変更、またはこれを読み取れないようにする行為。
- 2.3. お客様とABBYYの間の別の契約書で同意されている場合を除き、本ソフトウェアを使って認識、変換、スキャン、文書比較サービスを無料または有料で提供したり、認識、変換、スキャン、文書比較機能を持つ別のサービスの一部として本ソフトウェアを使い、その結果を第三者に提供したり結果にアクセスできるようにしてはなりません。
 - 2.4. 下記の第2.5項および第2.6項に従い、お客様は、ABBYYと別途書面による契約を締結している場合を除き、本ソフトウェアと共に提供される本ソフトウェアのユーザーインターフェースを迂回したり、スクリプト、ボット、ロボットプロセス自動化ソフトウェアを含む（ただし、これらに限定されない）自動化ソフトウェアによって本ソフトウェアと連携したりすることはできません。
 - 2.5. お客様のライセンスが第1.1.1.2項または第1.1.1.4項で定義されている種類に該当し、本ソフトウェア購入時に添付される文書で「拡張CLIサポート」と指定されている場合、お客様はコマンドラインインターフェースを使用する場合に限り、本ソフトウェアのユーザーインターフェースを迂回することができます。
 - 2.6. お客様のライセンスが第1.1.1.2項または第1.1.1.4項で定義されている種類に該当し、本ソフトウェア購入時に添付される文書で「RPA向け」と指定されている場合、お客様はロボットプロセス自動化ソフトウェアによって本ソフトウェアと連携することができます。
 - 2.7. 以下の第2.8条の通り、このソフトウェアは他のエンドユーザーへの完全譲渡が一度だけ可能です。法人のお客様の場合、かかる譲渡を行うにはABBYYの書面による承認が必要です。このような譲渡には、ソフトウェアのすべて（全コピー、コンポーネントパーツ、メディア、印刷資料、およびアップデート版を含む）と本契約が含まれなければなりません。このような譲渡は、委託またはその他の間接的譲渡によって行うことはできません。この一度限りの譲渡を受ける人物は、本契約と本ソフトウェアをもう譲渡してはならないという義務を含め、本契約条件を遵守することに同意しなければなりません。お客様が本ソフトウェアのかかる譲渡を行う場合は、お客様のコンピュータまたはローカルエリア ネットワークから本ソフトウェアをアンインストールする必要があります。

- 2.8. ソフトウェアのインストール後、アクティベーションが不要なソフトウェアのバージョン（「Try&Buy」「トライアル」または「デモ」とラベル付けされたものを除く）およびライセンスが、第1.1.1.1. -1.1.1.4. 条で言及された以外のものを提供された場合：(i) ソフトウェアには、ABBYYが発行する、該当するライセンスの詳細を指定する証明書が添付されます。(ii) お客様は本ソフトウェアを機密扱いとし、お客様による本ソフトウェアの譲渡は固く禁じられています(本第2.8条の目的のため、「譲渡」も含まれますが、これに限定されず、第三者へのアクセスの供与、従業員の私的利用のためにアクセスを供与すること、および、ソフトウェアの販売、貸与、貸出)。(iii) お客様は、ソフトウェアが使用されるユーザーコンピューターの数と正確な記録を保持し、ユーザーコンピューター数を毎年ABBYYまたはABBYYのパートナーに報告し、年間レポートとともに、各ユーザーコンピューターに該当するライセンス料を、事前購入されたライセンスを超える台数分も含め支払うものとします(購入したソフトウェアに付随する文書に記載の通り)。(iv) 合理的な事前の書面による要請があった場合、ABBYYは、ユーザーのコンピューターの数と12か月に1回までを上限に支払われたライセンス料の正確性を確認するためにのみ、お客様の記録の実質的な監査手続きを行うことができるものとします。このような監査は、ABBYYの費用で、お客様の通常の営業時間中に実施され、守秘義務の対象となります。監査後の検証記録により、お客様から提出されたソフトウェアライセンス料とライセンス料の5パーセントを超える未払い分があることが判明した場合、ライセンス料の差額を支払うことに加えて、ABBYYの監査費用もお客様が払い戻すものとします。

3. プレリリース、トライアル、デモソフトウェア

- 3.1. このライセンスとともに受け取ったソフトウェアが、試用、デモンストレーション、検証、またはテスト目的を持つ商用前リリース、あるいはベータリリース版のソフトウェアで、機能が制限されていたり完全版より機能が少なく、「試用して購入」「試用」「デモ」というラベルがあったり、無料で提供されたもの（「制限付きソフトウェア」）だった場合は、お客様が完全版ソフトウェアのライセンスを取得（購入）するまで、この第3条が適用されます。本条項における規定が本契約の他の条件と矛盾する場合、プレリリース ソフトウェアに関しては本条項が他の条件に優先するものとしますが、矛盾を解消するために必要となる範囲に限られます。
- 3.2. 制限付きのソフトウェアは「現状まま」の状態を提供され、何らかの保証または損害補償（明示、黙示または法定）を伴うものではありません。制限付きのソフトウェアはABBYYからの最終的なソフトウェアを表現するものではなく、システムまたはその他の障害、データの損失を引き起こすバグ、エラー、その他の問題が含まれる場合があります。適用法の下で許容される最大の範囲で制限付きソフトウェアには保証が適用されず、ABBYYは保証の暗示、商業性、不侵害、平穩享有、特定の目的への適合性に対し、またそれらに限定されず、何らの保証、賠償責任を保証しません。賠償責任は除外できないものの、制限が可能な場合、ABBYY およびそのパートナーの賠償責任は合計50米ドルか制限付きソフトウェアに対する支払総額の合計に限定され、金額が大きい方を上限とします。
- 3.3. 制限付きソフトウェアは、機能が制限されている場合があります。つまり、特定の期間しか機能をしようできず、その期間が失効（「タイムアウト」）すると、制限付きソフトウェアにはアクセスも使用も不可能になります。タイムアウトが発生した場合、お客様が新しいライセンスをABBYYから取得しない限り、本契約に基づくお客様の権利は停止されます。
- 3.4. 制限付きソフトウェアは、これまでに商用リリースがなかったものです。
- 3.4.1. 商用リリースがなかった制限付きソフトウェアはABBYYの機密情報となります。
- 3.4.2. 商用リリースがなかった制限付きソフトウェアに対し、ABBYYは約束または保証、明示または黙示の義務を負いません。お客様はABBYYが約束も保証もしていないこと、それらのソフトウェアが今後もさらに開発されること、または将来において商業用バージョンが発表され、取得可能になることに同意します。ABBYYは、そのようなソフトウ

エアに類似したり互換性があるソフトウェア製品を製造しない場合があります。そのためお客様は、プレリリースソフトウェアまたはそれに関連するソフトウェア製品に関し、お客様が実施する研究または開発がすべて自身の責任において行われることに同意します。

3. 4. 3. お客様は、制限付きソフトウェアのテストおよび使用に関してエラーまたはバグのレポート（「フィードバック」）を含めABBYYにフィードバックを提供することができ、そのようなフィードバックについてすべての権限をABBYYに譲渡します。これにはフィードバックを使用、公開、普及する権限も含まれますが、それらに限定されません。
3. 4. 4. これまでに商用リリースがなかった制限付きソフトウェアの機密性とその結果：
 3. 4. 4. 1. 商用リリースされていない制限付きソフトウェアに関連してABBYYから提供された同梱の書面、口頭または電子情報を開示しないことに同意します。このような制限付きソフトウェアの品質、または制限付きソフトウェアの使用によって得られた結果の品質に関する情報、フィードバック、および商用リリースされていない制限付きソフトウェアでお客様が発見したバグ、エラー、その他の問題はABBYYの機密情報です。
3. 4. 5. お客様は、機密資料を開示しないものとします。「開示する」とは、第三者に対して、口頭による伝達を含む、あらゆる形で再生された機密資料の表示、説明、コピー、リース、貸与、賃借、譲渡、またはネットワーク経由もしくはその他の方法によるアクセス提供を行うことを意味します。
3. 4. 6. お客様は、機密情報の開示を回避し、その機密性を保持するためにすべての合理的な手段を講じるものとします。
3. 4. 7. 機密情報の開示について知り得た場合、お客様は速やかにABBYYに通知するものとします。お客様が上記の第3. 4. 4. 1～3. 4. 6条に定められている規定に違反した場合、その結果発生した損害についてABBYYに補償することとします。
3. 4. 8. お客様は、制限付きソフトウェアの最新バージョン、またはそのようなソフトウェアの商用リリースを受け取り次第、スタンドアロン製品かより大規模な製品の一部にかかわらず、ABBYYから受け取ったそのようなソフトウェアの以前のバージョンを返却、または破壊することに同意するものとします。
3. 4. 9. 独立した契約書に基づき、お客様に制限付きソフトウェアが提供されている場合は、お客様によるソフトウェアの使用はその契約によっても支配されます。相互機密保持契約など、書面による個別の契約の条件が、本契約の条件と矛盾する場合、プレリリースソフトウェアに関しては書面による個別契約が本契約の条件に優先するものとなりますが、矛盾を解消するために必要となる範囲に限られます。

4. 再販禁止 (Not-for-resale) ソフトウェア

4. 1. 本ソフトウェアに「再販禁止」(“Not for Resale” または “NFR”) のラベルがある場合は、本契約の他の条項にかかわらず、本ソフトウェアの使用は、実演、検証、またはテスト目的に限定されます。

5. アップデートおよび機能拡張

5. 1. ソフトウェアに「アップデート」または「機能拡張（「拡張」）というラベルがある場合は、お客様によるソフトウェアの使用の制限およびライセンスの範囲は以下を含む可能性があります、これらに限定されません：

- 5.1.1. お客様がソフトウェアを使用するためには、ABBYYによりこのアップデートまたは機能拡張の権利があると特定された前のバージョン（アップデートの場合）のライセンス、または拡張可能版（機能拡張の場合）のライセンスを所有している必要があります。
 - 5.1.2. 「アップデート」または「機能拡張」（以下「拡張」）とラベルが付いているソフトウェアは、アップデートまたは機能拡張の権利の根拠となった製品に置き換わるか補完する（またはその両方）ものとなります。
 - 5.1.3. お客様は、更新または機能拡張とともに提供される本契約の条件を遵守する場合にのみ、更新または拡張された製品を使用できます。
- 5.2. ソフトウェアが「更新 / アップデート」とラベル付けされている場合、お客様は、サポートにおけるABBYYの義務は更新の取得が可能となった時点で終了することを承認するものとします。

6. アップグレード

- 6.1. ソフトウェアに「アップグレード」とラベルが付いている場合は、ソフトウェアの使用およびライセンスの範囲には以下を含みますが、これらに限定されません：
 - 6.1.1. 本契約の第6.1.1.1項が適用される場合を除き、アップグレードに関してお客様とABBYYの間の別の書面による合意の規定がない限り、アップグレードの資格の根拠となるソフトウェア（アップグレードベースソフトウェア）は、アップグレードベースソフトウェアとともに提供される本契約の条項に従って、アップグレード後は同じコンピューター上でのみ使用できます。
 - 6.1.1.1. 本契約によるアップグレードベースソフトウェアから本ソフトウェアへのアップグレードの結果、下記の両条件に該当する場合は本条が適用されます：
 - (i) 本契約の第16.6項が適用され、(ii) お客様がソフトウェアの現行バージョン通常価格から値引きされた価格でアップグレード版を購入し、アップグレードベースソフトウェアから本ソフトウェアへのアップグレードがその値引き価格によって条件とされていた場合。上記の両条件を満たしている場合、お客様によるアップグレードベースソフトウェアの使用権利は終了し、お客様はそのようなソフトウェアの使用をすべて停止してコンピューターまたはローカルエリアネットワークから完全にアンインストールしなければなりません。そうでない場合、本契約は無効とされ、お客様が現行バージョンとアップグレード版との差額を支払わない限り、お客様に対する本ソフトウェアのライセンスは許諾されないものとします。
 - 6.1.2. アップグレードベースソフトウェアの使用は、ABBYYまたはABBYYパートナーとの個別の書面による合意によって禁止されることがあります。

7. テクニカルサポートおよびメンテナンス

- 7.1. 現在のABBYYサポート方針の条件に応じ、本ソフトウェアに対してテクニカルサポート、メンテナンス、プロフェッショナルサービス（以下「サポートサービス」）が提供される場合があります。ただし、サポートサービスに関するABBYYとの書面による合意により、ABBYYサポート方針に記載されているものとは別のレベルのサポートサービスが提供されることがあります。また、ABBYYパートナーの合意がABBYYに追加の義務を課さないという規定のもとで、かかるサポートサービスに関するお客様とABBYYパートナーの間の合意に従って、お客様はABBYYパートナーによる特定のサポートサービスを受ける権利を有する場合があります。
- 7.2. ABBYYサポートポリシーの一般条項は、ABBYY Webサイト (www.abbyy.com) で公開されています。ABBYYは、事前の通知なくいつでもサポートポリシーを変更する権利を留保します。

- 7.3. 一般条件に加え、ABBYYには別の契約書で規制される特定地域に向けた特定サポートポリシーがあります。
- 7.4. 本サポートサービスの一部としてお客様に提供される補足のソフトウェアコードは、本ソフトウェアの一部であると見なされ、本契約の規約対象となります。

8. 所有権

- 8.1. ABBYYの知的財産権（本ソフトウェア、その他のABBYY特許、商標または著作権を含む）は、そのいずれもお客様に委譲されません。お客様は、本契約書の期間中または期間後、ABBYYにより所有される任意の名前、ロゴ、商標、パターンまたは設計、またはそれに類似する名前、ロゴ、商標、パターンまたは設計をしてはなりません。
- 8.2. お客様が所有する知的財産権（アプリケーションやお客様が所有する特許、商標または著作権を含む）の所有権はABBYYに委譲されません。
- 8.3. 本ソフトウェアには、ABBYY および第三者に帰属する価値ある企業秘密や機密情報が含まれており、米国著作権法、ロシア連邦の法律、国際条約の規定、および本ソフトウェアが使用または取得される国の適用法を含むがこれに限定されない著作権法によって保護されています。
- 8.4. 本ソフトウェアの構成要素ではないものの、本ソフトウェアの使用によってアクセスが可能になるコンテンツに対する所有権および権利はいずれも個々のコンテンツの所有者の財産であり、著作権などの知的財産権に関する適用法および国際条約によって保護されている場合があります。本契約はお客様に知的財産権を付与するものではありません。

9. 限定保証 免責事項

- 9.1. 本ソフトウェアを取得した（購入した）国の法令で要求される場合、ABBYYは、お客様が本ソフトウェアを購入された国の法律によって定められる最低保証期間に基づき、本ソフトウェアの購入日から起算される当該期間全体について、通常の使用状態においては本ソフトウェアが組み込まれたメディアの材質および加工には欠陥が生じないことを保証します。本ソフトウェアの購入国が第16.6条に挙げられている国である場合、この保証期間は取得（購入）日から30日間となります。
- 9.2. 本契約の第9条（制限付き保証、免責事項）に明示的に提供されている場合を除き、そして任意の保証、条件、表現または除外されない範囲で、ABBYYは第三者が有する権利への非侵害性、商品適格性、統合性、満足度の高い品質、特定の目的への適合性、または本ソフトウェアに瑕疵のないこと、お客様の要求の実現、あるいは本ソフトウェアを他のソフトウェアまたはハードウェアとともに使用した場合の正常な動作などのすべての事項について、制定法、コモンロー、慣習法、慣行、慣用その他の法的根拠を問わず、また明示的か暗示的かを問わず、一切の保証、条件設定、説明、表現を放棄します。ただし、お客様の法域においてお客様に適用法によってこれを除外または制限できない場合は、この限りではありません。本ソフトウェアの品質および性能に関するすべてのリスクは、お客様の責任となります。ABBYYはお客様が本ソフトウェアを使用して実現できる性能や結果を保証することなく、またこれを保証することは不可能です。本ソフトウェアの品質、性能についてのリスクはすべてお客様が負うものとします。ABBYYは、本ソフトウェア内で提供されるサードパーティ製のソフトウェア製品に関する一切の保証を放棄します。

10. 責任の制限

- 10.1. ABBYYはお客様に対し、本ソフトウェアの使用に起因または関係する、いかなる損害、業務の中断、あらゆる種類のデータや情報の消失、事業その他の喪失、賠償請求または費用など、一切の結果的、間接的、偶発的な損害や、利益または預金の喪失、または本ソフトウェアに内在する可

能性があるエラーや誤植に起因する損害などについての一切の責任を放棄します。ABBYYの代表者が、かかる損失、損害、賠償請求または費用の発生可能性についての指摘を第三者からの受けていた場合においても、同様とします。上記の制限および除外は、お客様の法域の適用法によって認められる範囲内で適用されます。本契約に基づく責任または本契約に関連してABBYYが負う責任の総額は、(該当する場合)本ソフトウェアに対して実際に支払われた購入価格を上限とします。

11. ドイツまたはオーストリアを居住国とするユーザーに対する責任の例外および制限

- 11.1. お客様がドイツまたはオーストリアで本ソフトウェアのコピーを取得し、お客様の通常の居住国がドイツまたはオーストリアである場合、ABBYYはドイツの法律に基づき、本ソフトウェアのコピー取得後の限定保証期間について、推奨されるハードウェア設定での使用を前提として本ソフトウェアが添付のドキュメンテーションに記載される機能(「同意済み機能」)を提供することを保証します。この条項で使用されているように、「限定保証期間」とは、お客様が消費者である場合は2年間、そうでない場合は1年間を意味します。同意済み機能の軽微な差異は保証対象と見なされず、保証に対する権利は発生しません。この限定保証は、更新、プレリリースバージョン、「試用(Trial)」バージョン、製品サンプル、本ソフトウェアの「再販禁止(Not for resale - NFR)」コピーなど、お客様に対して無償で提供される本ソフトウェアには適用されません。また、お客様による本ソフトウェアの改変に起因する不具合も除外されます。保証を請求する場合、お客様は限定保証の期間中に本ソフトウェアとその購入証明書を、お客様が本ソフトウェアを購入した店舗に着払いで返送する必要があります。本ソフトウェアの機能が同意済み機能と著しく異なる場合、ABBYYは(弊社による確認と判断に基づき)本ソフトウェアを修理または交換する義務を有するものとします。この対応によって問題が解決されない場合、お客様に対する購入価格の減額(減額)または購入契約の解約(取消し)が認められます。保証の詳細については、下記までお問い合わせください: ABBYY Europe GmbH, Landsberger Str. 300, 80687 Munich, 電話: +49 89 69 33 33 0、ファックス: +49 89 69 33 33 300、電子メール: help@abbyy.com.
- 11.2. お客様が本ソフトウェアのコピーをドイツまたはオーストリアで取得され、そのいずれかの国を居住国とされている場合は、
 - 11.2.1. 第11.2.2条の適用により、損害に対するABBYYの法的責任は下記のように制限されます:
 - (i) ABBYYは、重大な契約上の義務の軽微な過失による不履行に起因する損害について、購入契約の締結時点において一般に予測可能と判断される損害額を上限とする責任を負います。(ii) 重大ではない契約上の義務の軽微な過失による不履行に起因する損害について、ABBYYは責任を負いません。
 - 11.2.2. 第11.2.1条で定められる責任の制限は、強制的な法定責任には適用されません。特に、German Product Liability Act(ドイツ製造物責任法)で定められた責任、特定の保証の引受に対する責任、過失によって発生した人身傷害に対する責任には適用されません。
 - 11.2.3. お客様は、損害を回避または軽減するための合理的手段をすべて講じるよう要求されます。特に本契約の条項に基づいて、本ソフトウェアとお客様のコンピュータデータのバックアップコピーを作成する必要があります。

12. オーストリアに居住するユーザーに対する責任の除外と制限

- 12.1. お客様が本ソフトウェアのコピーをオーストラリアで入手し、同国に居住している場合:
 - 12.1.1. オーストラリア消費者法により、ABBYYの商品は除外されない保証を伴います。お客様は、重大な不具合が発生した場合は交換または返金を受ける権利を、および合理的に予測できるその他の損失や損害が発生した場合は補償を受ける権利を有します。お

お客様はまた、商品が許容可能な品質ではなく、その不具合が重大なものではない場合でも、修理または交換を受ける権利を有します。

- 12.1.2. ABBYYが本ソフトウェアに関する明示的保証を新たに提供する場合、かかる保証によってお客様に付与される特典はオーストラリア消費者法に基づくお客様のその他の権利や救済に追加されるものであり、そのような権利や救済に代わるものではありません。保証の請求については、お客様の負担で本ソフトウェアおよび購入の証明書を購入元へ返送するか、返送が不可能な場合はABBYYまたはその代理人が本ソフトウェアを検査できるようにしなければなりません。保証条件に従って本ソフトウェアの試験が行われ、ABBYYによる瑕疵が認められない限り、この保証に基づく請求は実行できません。ABBYYの裁量によって本ソフトウェアの瑕疵が認められた場合、ABBYYは独自の裁量によって本ソフトウェアの修理または交換を行います。保証の詳細については、下記のABBYY PTY Ltd. までお問い合わせください： Citigroup Building' Level 13, 2 Park Street, SYDNEY NSW 2000 Australia 電話 +61 (02) 9004 7401 電子メール： help@abbyy.com
- 12.1.3. お客様は、2010年競争・消費者法 (Cth) または同様のその他の消費者法に基いて発生する権利により、本契約、あるいはお客様とABBYYまたはABBYYのパートナー間で取り交わされた書面による同意に基づく本ソフトウェアやその他の商品またはサービスの提供によって（またはそれに関連して）発生した利益、契約、収益、データ上の損失をはじめとする（ただしそれらに限定されない）いかなる直接的、特別、偶発的、間接的、結果的損害や傷害についても、ABBYYによる違反または不履行やABBYYによる怠慢の結果かどうかにかかわらず、お客様による請求（契約上、不法行為上、法令上、またはその他か否かを問わず）に対してABBYYは一切の責任を負わないことに同意するものとします。本契約、およびお客様とABBYYの間で取り交わされた書面によるその他の同意に基づき、いかなる不履行やかかる同意に関するいかなる過失についても、ABBYYおよびそのパートナーの責任限度は、計50米ドル、またはお客様が本ソフトウェアに対して支払った合計金額のどちらか大きい方とします。
- 12.1.4. 2010年競争・消費者法 (Cth) （または同様の法令）が適用され、制定法によって暗黙に定義される保証の不履行に対する責任制限が認められる場合、ABBYYの責任は同社の任意により以下のように制限されます：
 - 12.1.4.1. 商品の場合は、以下のいずれか1つ、またはそれ以上が適用： (i) 商品の交換または同等の商品の提供 (ii) 商品の修理 (iii) 商品の交換や同等の商品を取得する際の費用の支払い (iv) 商品の修理費用の支払い
 - 12.1.4.2. サービスの場合： (i) サービスの再提供 (ii) サービスの再提供に関する費用の支払い
- 12.1.5. 明示的か黙示的にかかわらず、一切の条項、条件、保証も制限または除外する本契約のどの条件も、またはABBYYによる責任はオーストラリアの法律によって認められる範囲で適用されるものであり、法令によって除外、資格、制限が禁止されうる本契約の黙示的条項の不履行から発生するお客様の法的権限や救済を、除外、限定、制限するとは見なされません。
- 12.1.6. お客様が（2010年競争・消費者法 (Cth) で定義される）消費者である場合、かかる制約、制限、変更が2010年競争・消費者法 (Cth) によって禁止されうるオーストラリア消費者法に基づき、本契約のいかなる部分についても、法的保証の不履行に関するお客様の権利やABBYYによる救済を制限、変更するものではありません。

13. 米国内で取得された本ソフトウェアに対する追加制限

- 13.1. **政府による使用** ライセンスが付与されたソフトウェアや関連ドキュメンテーションは「商用品目」であり、これらに関する規定は「商用コンピュータソフトウェア」を構成する48 C.F.R. § 2.101で定義されています。これらの用語は48 C.F.R. § 12.212、48 C.F.R. § 227.7202で使用されているとおりです。48 C.F.R. § 12.212または48 C.F.R. § 227.7202-1 から 227.7202-4に準拠し、商用コンピュータソフトウェアおよび商用コンピュータソフトウェアドキュメンテーションは、米国政府エンドユーザーに対し、(a) 商用品目としてのみライセンスが提供されており、(b) これらの権利はここに記された利用規約に準拠するエンドユーザーにのみ付与されるものとします。未発行の権利は米国の著作権法によって留保されています。
14. **輸出規則** お客様は、本ソフトウェアを購入または取得した国の法律で定められる輸出規定に違反して輸出または再輸出しないことに同意するものとします。お客様はまた、適用法によって本ソフトウェアの取得を禁止されていないことを表明および保証するものとします。

15. サードパーティのソフトウェア

15.1. 埋め込みフォント

フォントプログラムは著作権の対象となり、著作権所有者はフォントプログラムの使用条件を課すことができます。この条件の1つとして、お客様はPDFファイルにフォントを埋め込むフォントプログラムの許諾コピーが必要となりまれます。ABBYYは、お客様による埋め込みフォントの使用に起因または関連する損害についてはいかなる場合も責任を負いません。

15.2. 診断ソフトウェアおよびAdobe製品

15.2.1. Copyright 2000 – 2012 Datalogics, Inc.

Copyright 1984 – 2012 Adobe Systems Incorporated and its licensors. All rights reserved.

15.2.2. 「Datalogics SoftwareおよびAdobe製品」とは、Datalogics Software およびサードパーティ製品（Adobe製品を含む）および関連ドキュメンテーション、任意のアップグレード、修正バージョン、更新、そのコピーを意味します。

15.2.3. お客様は、サードパーティライセンサが特定の専有情報およびホスト製品および関連ドキュメンテーションに含まれる知的財産権の所有者であることを了承し、同意するものとします。それらのサードパーティライセンサはサードパーティ受益者であり、ABBYYの権利とおお客様の義務を強制する権利を持ち、お客様が義務を放棄した場合の損害賠償および差止命令による救済を含め、またそれに限定されず、適切な法的および公正な救済を求めることができます。

15.2.4. **使用許諾および制約** 本契約の条件に基づき、ABBYYはお客様に対して Software Datalogics SoftwareおよびAdobe製品を使用する非独占的権利を付与します。お客様は、Datalogics SoftwareおよびAdobe製品のバックアップコピーを1部作成できます。ただし、このバックアップコピーがコンピュータにインストールされておらず、どのコンピュータでも使用されていないことを条件とします。

15.2.5. **知的財産権** 本ソフトウェアに組み込まれているDatalogics Software およびAdobe製品は、Datalogics、Adobe、サードパーティ、およびそのサプライヤーが所有しており、その構造、組織、およびコードはDatalogics、Adobe、サードパーティ、およびそのサプライヤーの重要な企業秘密です。Datalogics SoftwareおよびAdobe製品は、米国著作権法および国際条約の規定によっても保護されています。本契約に定められている場合を除き、お客様はDatalogics SoftwareおよびAdobe製品をコピーすることはできません。お客様が本契約に基づいて作成が許可されているコピーには、Datalogics

SoftwareおよびAdobe製品に表示されているものと同じ著作権表示およびその他の所有権表示が記載されていなければなりません。お客様は、Datalogics SoftwareおよびAdobe製品の変更、翻案、翻訳、リバースエンジニアリング、逆コンパイル、逆アセンブルを行わず、またそのソースコードの取得を試みないことに同意します。上記を除き、本契約はお客様に対し、Datalogics SoftwareおよびAdobe製品に関する知的財産権を付与するものではありません。

- 15.2.6. フォントのライセンス お客様は、ドキュメントの印刷、表示、編集のため、フォントソフトウェアのコピーを電子文書に埋め込むことができます。このライセンスでは、他のいかなる埋め込みの権利も暗示または許可されていません。
- 15.2.7. 保証 ABBYY およびそのサプライヤーは、本ソフトウェアの使用によって得られる性能を保証するものではなく、また保証できません。
- 15.2.8. 輸出規則 お客様はSoftware Datalogics および Adobe製品を、米国輸出管理法またはその他の輸出法、規則もしくは規制（以下「輸出法」と総称します）により禁止された方法でいずれかの国に出荷、移転または輸出せず、あるいはそのように禁止された方法で使用しないことに同意します。さらに、Software Datalogics および Adobe製品が輸出法に基づく輸出管理品であると特定された場合、お客様は、お客様が輸出を禁じられた国の国民でもなく、かかる国内に所在してもおらず、またSoftware Datalogics および Adobe製品をお客様が受領することに対して輸出法が禁止していないことを表明および保証します。Software Datalogics および Adobe製品の著作権はすべて、お客様が本契約条件を遵守しない場合には没収されることを条件に付与されます。
- 15.2.9. 準拠法 本契約は、いずれかの管轄区の法律の抵触や国際物品売買契約に関する国連条約には準拠しません。これらの適用は明示的に除外されます。
- 15.2.10. 一般規定 本契約は、消費者として取引を行う当事者の法定権利を侵害するものではありません。
- 15.2.11. 商標 ここに記載されている商標は、米国およびその他の国（またはそのいずれか）における各所有者の商標または登録商標です。

15.3. Cuminas DjVu® SDK

このコンピュータプログラムの一部は © 2008 Celartem, Inc. の著作権で保護されています。All rights reserved. このコンピュータプログラムの一部は © 2011 Caminova, Inc. の著作権で保護されています。All rights reserved. このコンピュータプログラムの一部は © 2013 Cuminas, Inc. の著作権で保護されています。All rights reserved. DjVu は米国特許番号 6,058,214により保護されています。外国の特許は申請中です。AT&T Labsの技術を採用しています。

エンドユーザーとしてお客様は DjVu SDK を本ソフトウェアの一部としてソフトウェアの著作権期間全般を通じて、または、本契約に記載のより短い期間に使用する権利を有します。

- 15.3.1. リバースエンジニアリング、逆アセンブル、逆コンパイル（オブジェクトコードを複製してソースコードに変換すること）、または本ソフトウェアのソースコードやその他の部分を派生させようとしたり、他の人物にもそのような行為ができるようにしてはなりません。ただし、本制限にかかわらず、かかる行為が適用法により明示的に許可されている場合は唯一の例外とします。かかる行為を制限することが適用法によって禁止されている場合、法律によって求められる場合を除き、この行為によって明らかになった情報を第三者に開示してはなりません。また、かかる情報については速やかに

ABBYYに対して開示するものとします。このような情報はすべてABBYYの専有面機密情報と見なされます。

15.3.2. ABBYYは、第三者が有する権利への非侵害性、商品適格性、統合性、満足度の高い品質、特定の目的への適合性、または本ソフトウェアに瑕疵のないこと、お客様の要求の実現、あるいは本ソフトウェアを他のソフトウェアまたはハードウェアとともに使用した場合の正常な動作などのすべての事項について、制定法、コモンロー、慣習法、慣行、慣用その他の法的根拠を問わず、また明示的か暗示的かを問わず、一切の保証、条件設定、説明、表現を放棄します。ABBYYはお客様が本ソフトウェアを使用して実現できる性能や結果を保証することではなく、またこれを保証することは不可能です。本ソフトウェアの品質、性能についてのリスクはすべてお客様が負うものとします。ABBYYは、本ソフトウェア内で提供されるサードパーティ製のソフトウェア製品に関する一切の保証を放棄します。

15.3.3. ABBYYは、いかなる場合でも、お客様に対し、本ソフトウェアの使用に起因または関係する、損害、業務の中断、あらゆる種類のデータや情報の消失、事業その他の喪失、賠償請求または費用など、一切の結果的、間接的、偶発的な損害や、利益または預金の喪失、または本ソフトウェアに内在する可能性があるエラーや誤植に起因する損害などについての一切の責任を放棄します。ABBYYの代表者が、かかる損失、損害、賠償請求または費用の発生可能性についての指摘を第三者からの受けていた場合においても同様とします。上記の制限および除外は、お客様の法域の適用法によって認められる範囲内で適用されます。本契約に基づいて、または本契約に関連してABBYYが（該当する場合に）負う責任の総額は、本ソフトウェアに対して実際に支払われた購入価格を上限とします。

15.3.4. 米国内で取得した本ソフトウェアの制限

15.3.4.1. 政府による使用 米国政府または米国政府機関が本ソフトウェアを利用する場合は、以下の追加条件が適用されるものとします：(1) 連邦政府調達規則 52.227-14の「データ一般条項における権利」において定義されている制限付コンピュータソフトウェア、および(2) 政府による使用、複製または開示は、DFARS 252.227-7013の技術データおよびコンピュータソフトウェアにおける権利条項の(c)(1)(ii)に定める制約の対象となります。

15.3.4.2. 輸出規則 お客様は、本ソフトウェアを購入または取得した国の法律で定められる輸出規定に違反して輸出または再輸出しないことに同意するものとします。お客様はまた、適用法によって本ソフトウェアの取得を禁止されていないことを表明および保証するものとします。

15.3.5. サードパーティのコード Oniguruma Copyright © 2002-2006 K. Kosako <sndgk393 AT ybb DOT ne DOT jp>. All rights reserved. ソースコード形式かバイナリ形式か、変更するかしないかを問わず、以下の条件を満たす場合に限り再頒布および使用が許可されます：ソースコードを再頒布する場合は、上記の著作権表示、本条件一覧、および下記の免責事項を含めなければなりません。バイナリコードを再配布する場合には、上記の著作権表示、この条件のリストおよび以下の免責条項を保持する必要があります。

このソフトウェアは作成者および貢献者によって「現状のまま」提供され、商品性、特定の目的への適合性および第三者の権利を侵害しないことを含めかつそれに限定されずいかなる明示または黙示の保証を提供するものではありません。いかなる場合でも作成者または貢献者は、任意の直接、間接、付随的、特別、説明的または付随的損害（補完的物またはサービスの調達、使用の損失、データまたは利益の損失または事業の中断を含み、またこれらに限定されず）に対して責任を負いません。任意の責任論、

厳密な責任、不法行為のどのような理論の上であっても本ソフトウェアの使用目的外でいかなる原因で生じたそのような損害の可能性について知らされていた場合でも、何らこのソフトウェアの使用の損失、データの損失（過失またはその他を含む）に対する責任を負いません。

15. 3. 6. 本ソフトウェアのMD5 A部分は、RSA Data Security, Inc. のMD5メッセージ処理アルゴリズムから派生しています。Mersenne Twister Copyright © 2006, 2007 Mutsuo Saito, Makoto Matsumoto and Hiroshima University. All rights reserved. ソースコード形式かバイナリ形式か、変更するかしないかを問わず、以下の条件を満たす場合に限り再頒布および使用が許可されます：ソースコードを再頒布する場合は、上記の著作権表示、本条件一覧、および下記の免責事項を含めなければなりません。バイナリコードを再配布する場合には、上記の著作権表示、この条件のリストおよび以下の免責条項を保持する必要があります。書面による事前の許可がなければ、広島大学の名前も、貢献者の名前もこのソフトウェアから派生した製品を保証または販売促進するために使用することはできません。

本ソフトウェアは著作権所有者およびコントリビューターによって「現状有姿」で提供されており、商品性および特定目的の適合性に関する暗黙の保証（を含めるがこれらに限定されない）について、明示的または黙示的な責任を一切負いません。著作権所有者もコントリビューターも、事由の如何を問わず、損害発生の原因如何を問わず、かつ責任の根拠が契約であるか厳格責任であるか（過失その他の）不法行為であるかを問わず、仮にそのような損害が発生する可能性を知らされていたとしても、本ソフトウェアの使用によって発生した（代替品または代用サービスの調達、使用の喪失、データの喪失、利益の喪失、業務の中断も含め、またそれに限定されない）直接損害、間接損害、偶発的な損害、特別損害、懲罰的損害、または結果損害について、一切責任を負わないものとします。

15. 4. OpenSSL

15. 4. 1. OpenSSLライセンス

Copyright (c) 1998–2016 The OpenSSL Project. All rights reserved.

本製品には、OpenSSL ツールキットでの使用のため OpenSSL プロジェクト（<http://www.openssl.org/>）によって開発されたソフトウェアが含まれています。

Copyright (C) 1995–1998 Eric Young (eay@cryptsoft.com) All rights reserved.

本製品には Eric Young (eay@cryptsoft.com) によって作成された暗号化ソフトウェアが含まれています

Eric Youngは、使用されているライブラリの一部の作成者です。

本製品には Tim Hudson (tjh@cryptsoft.com) によって作成されたソフトウェアが含まれています。

OpenSSL ツールキットは、引き続きデュアルライセンスの対象となります。すなわち、OpenSSL ライセンスの条件とオリジナルの SSLeay ライセンスの両方がツールキットに適用されます。

実際のライセンステキストについては、<https://www.openssl.org/source/license.html> を参照してください。

15.5. PDF-XChange

PDF-XChange Standard (c) 2001-2013 by Tracker Software Products Ltd.

- 15.5.1. 使用許諾および制約 ABBYYはお客様に対し、本契約の条件に基づいて本ソフトウェアに組み込まれているPDF-XChangeを使用する非独占的権利を許諾します。お客様は、本ソフトウェアに組み込まれているPDF-XChangeのバックアップコピーを1部作成できます。ただし、このバックアップコピーがコンピュータにインストールされておらず、どのコンピュータでも使用されていないことを条件とします。
- 15.5.2. 知的財産権本ソフトウェアに組み込まれているPDF-XChangeは、Tracker Software Products Ltd が所有しており、その構造、組織、およびコードはTracker Software Products Ltd. およびそのサプライヤーの価値ある企業秘密です。また、PDF-XChangeは、米国著作権法および国際条約の規定によっても保護されています。本契約に定められている場合を除き、お客様は本ソフトウェアに組み込まれているPDF-XChangeをコピーすることはできません。お客様が本契約に従い作成することを許可されているコピーには、本ソフトウェアに付与されているものと同じ著作権表示およびその他の所有権表示が記載されていなければなりません。お客様は、本ソフトウェアに組み込まれているPDF-XChangeの変更、翻案、翻訳、リバースエンジニアリング、逆コンパイル、逆アセンブルを行わず、またそのソースコードの取得を試みないことに同意します。上記を除き、本契約はお客様に対し、PDF-XChangeに関する知的財産権を付与するものではありません。
- 15.5.3. 輸出規則 お客様は、本ソフトウェアに組み込まれているPDF-XChangeを、米国輸出管理法またはその他の輸出法、規則もしくは規制（以下「輸出法」と総称）で禁止されている方法でいずれかの国に出荷、転送、輸出したり、使用したりしないことに同意するものとします。さらに、本ソフトウェアに組み込まれているPDF-XChangeが輸出法に基づく輸出規制品であると特定された場合、お客様は、お客様が輸出を禁じられた国の国民ではないこと、かかる国内に所在していないこと、本ソフトウェアに組み込まれているPDF-XChangeの受領が輸出法では禁止されていないことを表明および保証するものとします。本ソフトウェアに組み込まれているPDF-XChangeの使用権は、お客様が本契約条件を遵守しない場合にすべて没収されることを条件に付与されます。
- 15.5.4. 商標 PDF-XChangeは、英国、カナダ、およびその他の国（またはそのいずれか）の Tracker Software Products Ltdの登録商標または商標です。

15.6. Microsoft Corporation

- 15.6.1. Microsoft® Visual Studio® 2015を使用して構築されたC++アプリケーションを実行するため、Microsoft Corporationの技術、または15.6.1.1に列挙されているその一部（以下「Microsoftテクノロジー」）が使用されています。Microsoftテクノロジーは、Microsoftテクノロジーに付帯するMicrosoftソフトウェアライセンス条項の下で配布されています。

15.6.1.1. 本ソフトウェアに使用されているMicrosoft Corporationのテクノロジー：

- Microsoft Visual C++ 2015 Runtime Library

© Microsoft Corporation. All rights reserved. MicrosoftおよびVisual Studioは、米国およびその他の国におけるMicrosoft Corporationの登録商標または商標です。

- Microsoft Visual C++ 2015 OMP Library

© Microsoft Corporation. All rights reserved. MicrosoftおよびVisual Studioは、米国およびその他の国におけるMicrosoft Corporationの登録商標または商標です。

15.6.1.2. Microsoft テクノロジは使用許諾されるもので、販売はされません。Microsoftテクノロジを使用できる権限の一部をお客様に提供するのは、Microsoftソフトウェアライセンス条項、および本契約のみです。Microsoftはその他の権利をすべて留保します。この制限にもかかわらず、適用法によってさらなる権限がお客様に与えていない限り、Microsoftテクノロジの使用はMicrosoftソフトウェアライセンス条項および本契約に明記されている許可範囲のみとします。お客様はそのため、特定の使用方法のみを許可するMicrosoftテクノロジの技術的制限に準拠する必要があります。詳細はこちらをご覧ください：www.microsoft.com/licensing/userights 禁止事項：

- Microsoftテクノロジの技術的制限に対処すること。
- Microsoftテクノロジのリバースエンジニアリング、逆コンパイル、もしくは逆アセンブル、ソフトウェアのソースコードを派生させようと試みることを。ただし、以下の範囲に限って上記の行為が認められます：(i) この制限にもかかわらず適用法で許可されている場合 (ii) Microsoftテクノロジにより含まれている、もしくはリンクされているGNU劣等一般公衆利用許諾契約書 (LGPL) で付与されているライブラリへの変更をデバッグする必要がある場合
- MicrosoftまたはMicrosoftテクノロジのサプライヤーの表示を削除、最小化、ブロック、変更すること
- 何らかの違法行為によってMicrosoftテクノロジを使用すること
- Microsoftテクノロジの共有、公開、貸与、リース、またはMicrosoftテクノロジをスタンドアロンのホストソリューションとして提供し、他者が使用できるようにすること

15.6.1.3. 輸出制限 Microsoftの技術、オンラインサービス、プロフェッショナルサービス、および関連するテクノロジーは米国輸出管轄の対象となります。お客様は、Microsoftの製品、サービス、技術に適用される米国輸出管理規制、国際武器流通規定、外国資産管理局の制裁プログラム、およびエンドユーザー、米国およびその他の政府による最終用途と目的地の制限を含むすべての国内法および国際法に準拠しなければなりません。追加情報についてはこちらをご覧ください：www.microsoft.com/exporting

15.6.2. 本ソフトウェアには、Microsoft Corporationの技術またはその一部(以下、「Microsoftテクノロジ」と記載)が使用されています。Microsoftテクノロジは、Microsoftテクノロジに付帯するMicrosoftソフトウェアライセンス条項の下で配布されています。

15.6.2.1. 本ソフトウェアで使用されているMicrosoft Corporationの技術：

- Microsoft HD Photo 1.0 デバイスポーティングキット (別名 Microsoft Windows Media Photo 1.0 デバイスポーティングキット)

© 2005-2006 Microsoft Corporation. All rights reserved. Microsoftは、米国およびその他の国におけるMicrosoft Corporationの登録商標ま

たは商標です。

15.6.2.2. Microsoftテクノロジーは使用許諾されるものであり、販売はされません。本契約は、Microsoftテクノロジーを使用する部分的権利を提供するものです。Microsoftはその他の権利をすべて留保します。この制限にもかかわらず、適用法によってさらなる権限がお客様に与えていない限り、Microsoftテクノロジーの使用はMicrosoftソフトウェアライセンス条項および本契約に明記されている許可範囲のみとします。お客様はそのため、特定の使用方法のみを許可するMicrosoftテクノロジーの技術的制限に準拠する必要があります。禁止事項：

- Microsoftテクノロジーを意図された目的以外に使用すること。Microsoftテクノロジーから提供されている仕様書で定義されているとおり、Microsoftテクノロジーの目的は、HD Photo 1.0ファイル形式（別名：Windows Media Photo 1.0ファイル形式）に準拠、および同ファイル形式をサポートしているXMLペーパー仕様製品にHD Photoエンコーダおよびデコーダ（またはそのいずれか）を実装することです。
- 他者がコピーできるようMicrosoftテクノロジーを公開すること。
- Microsoftテクノロジーを貸借またはリースすること。
- Microsoftテクノロジー、またはこのMicrosoftソフトウェアライセンス条項を、明示的に許可されているサードパーティ以外に譲渡すること。

15.6.2.3. 輸出制限 Microsoftテクノロジーは米国輸出法規制の対象となっています。お客様は、Microsoftテクノロジーに適用されるどの国内および国際輸出法にも準拠しなければなりません。これらの法令には、宛先、エンドユーザー、エンドユースに関する制限が含まれます。追加情報についてはこちらをご覧ください：www.microsoft.com/exporting

15.6.3. Microsoft Outlookインテグレーションをサポートするため、Microsoft Corporationの技術、または15.6.3.1に列挙されているその一部（以下「Microsoftテクノロジー」）が使用されています。Microsoftテクノロジーは、Microsoftテクノロジーに付帯するMicrosoftソフトウェアライセンス条項の下で配布されています。

15.6.3.1. 本ソフトウェアで使用されているMicrosoft Corporationの技術：

Microsoft Outlook 2010： MAPIヘッダーファイル

© 2009–2010 Microsoft Corporation. All rights reserved. Microsoftは、米国およびその他の国におけるMicrosoft Corporationの登録商標または商標です。

15.6.3.2. Microsoftテクノロジーは使用許諾されるもので、販売はされません。Microsoftテクノロジーを使用できる権限の一部をお客様に提供するのは、Microsoftソフトウェアライセンス条項、および本契約のみです。Microsoftはその他の権利をすべて留保します。この制限にもかかわらず、適用法によってさらなる権限がお客様に与えていない限り、Microsoftテクノロジーの使用はMicrosoftソフトウェアライセンス条項および本契約に明記されている許可範囲のみとします。お客様はそのため、特定の使用方法のみを許可するMicrosoftテクノロジーの技術的制限に準拠する必要があります。禁止事項：

- Microsoftテクノロジーの技術的制限に対処すること。
- Microsoftテクノロジーをリバースエンジニアリング、逆コンパイル、もしくは逆アセンブルすること。ただし、適用法令により上記の行為が認められている場合は、当該範囲に限って上記の行為が認められます。
- この制限にもかかわらず、本契約、または適用法で指定されている以上の数のMicrosoftテクノロジーのコピーを作成すること。
- 他者がコピーできるようMicrosoftテクノロジーを公開すること。
- Microsoftテクノロジーを貸借またはリースすること
- Microsoftテクノロジーを商業用ソフトウェアホスティングサービスで使用する

15.6.3.3. 輸出制限 Microsoftテクノロジーは米国輸出法規制の対象となっています。お客様は、Microsoftテクノロジーに適用されるどの国内および国際輸出法にも準拠しなければなりません。これらの法令には、宛先、エンドユーザー、エンドユースに関する制限が含まれます。追加情報についてはこちらをご覧ください：www.microsoft.com/exporting

15.6.4. Microsoftの開発ツールを使って作成されたアプリケーションがWindowsネイティブのXMLベースアプリケーションを構築できるよう、Microsoft Corporationの技術、または15.6.4.1に列挙されているその一部（以下「Microsoftテクノロジー」）が使用されています。Microsoftテクノロジーは、Microsoftテクノロジーに付帯するMicrosoftソフトウェアライセンス条項の下で配布されています。

15.6.4.1. 本ソフトウェアで使用されているMicrosoft Corporationの技術：

- Microsoft XML Core Services (MSXML) 6.0

© Microsoft Corporation. 1981-2008. All rights reserved. Microsoftは、米国およびその他の国におけるMicrosoft Corporationの登録商標または商標です。

15.6.4.2. Microsoftテクノロジーは使用許諾されるもので、販売はされません。Microsoftテクノロジーを使用できる権限の一部をお客様に提供するのは、Microsoftソフトウェアライセンス条項、および本契約のみです。Microsoftはその他の権利をすべて留保します。この制限にもかかわらず、適用法によってさらなる権限がお客様に与えていない限り、Microsoftテクノロジーの使用はMicrosoftソフトウェアライセンス条項および本契約に明記されている許可範囲のみとします。お客様はそのため、特定の使用方法のみを許可するソフトウェアの技術的制限に準拠する必要があります。

15.6.4.3. 輸出制限 Microsoftテクノロジーは米国輸出法規制の対象となっています。お客様は、Microsoftテクノロジーに適用されるどの国内および国際輸出法にも準拠しなければなりません。これらの法令には、宛先、エンドユーザー、エンドユースに関する制限が含まれます。追加情報についてはこちらをご覧ください：www.microsoft.com/exporting

15.7. Miama Nueva, Pecita, Bad Script Regular フォント

- 15.7.1. Miama Nueva Copyright (c) 2014, Linus Romer, with Reserved Font Name Miama Nueva.
- 15.7.2. Pecitaの著作権 (c) 2009–2015, Philippe Cochy, (<http://pecita.eu>), with Reserved Font Name Pecita.
- 15.7.3. Bad Script Regular 著作権 (c) 2011, Cyreal (www.cyreal.org) with Reserved Font Name “Bad Script”.
- 15.7.4. 本フォントソフトウェアは、SIL Open Fontライセンス、バージョン1.1の下でライセンス提供されています。

本ライセンスは以下にコピーされています。また、以下のFAQでも参照できます：
<http://scripts.sil.org/OFL>

15.7.5. SILオープンフォントライセンス バージョン1.1 – 2007年2月26日

15.7.5.1. 序文

オープンフォントライセンス (OFL) の目標は、共同作業によるフォントプロジェクトの開発を世界規模で推進すること、学術および言語コミュニティによるフォント作成活動を支援すること、他者との協力によってリフォントの共有や改良が可能な自由でオープンなフレームワークを提供することです。

OFLは、それ自体で販売されない限り、ライセンスを付与されたフォントの使用、研究、改変、再頒布を許可します。派生物を含め、フォントは予約名が派生物によって使用されていない限り、任意のソフトウェアとのバンドル、埋め込み、再配布、および販売が可能です。ただし、フォントおよびその派生物を別の種類のライセンスに基づいてリリースすることはできません。フォントをこのライセンス下に保つという要件はフォントまたはその派生物を使って作成されたいかなるドキュメントにも適用されません。

15.7.5.2. 定義

「フォントソフトウェア」は、本ライセンスに基づいて著作権所有者によってリリースされ、そのことが明確に示された一連のファイルを指します。これにはソースファイル、ビルドスクリプト、およびドキュメンテーションも含まれます。

「予約フォント名」とは、予約されていることが著作権に記述されている名前のことです。

「オリジナルバージョン」とは、著作権所有者が配布した状態によるフォントソフトウェアコンポーネントの集合を指します。

「改変バージョン」とは、オリジナルバージョンのコンポーネントの一部または全体に対する追加、削除、差し替え、形式の変更、またはフォントソフトウェアの新しい環境への移植によって作成された派生物を指します。

「作成者」とは、フォントソフトウェアへの貢献を行ったデザイナー、エンジニア、プログラマー、テクニカルライター、またはその他の人物を指します。

15.7.5.3. 許可および条件

以下の条件に基づき、フォントソフトウェアのコピーを取得した人物にはすべて、フォントソフトウェアの改変および未改変のコピーを使用、研究、コピー、結合、埋め込み、改変、再配布および販売を行う権利が無料で付与されます：

- 1) フォントソフトウェア、およびその各コンポーネントは、オリジナルバージョンか改変バージョンかを問わず、それ自体では販売されません。
- 2) フォントソフトウェアのオリジナルバージョン、または改変バージョンは、上記の著作権表示およびこのライセンスが各コピーに含まれている限り、他のソフトウェアとバンドル、再配布、販売が可能です。これらは、スタンドアロンのテキストファイルか、人間が読み取ることができるとヘッダーのいずれかとして、または（ユーザーがそのフィールドを簡単に読み取れる限り）テキストファイルかバイナリファイル内の適切な機械読み取り可能なメタデータフィールドに含めることができます。
- 3) フォントソフトウェアの改変バージョンは、その著作権所有者が書面による明示的許可を与えていない限り、予約フォント名を使用することはできません。この制限は、ユーザーに示される主なフォント名にのみ適用されます。
- 4) フォントソフトウェアの著作権所有者または作成者の名前は、著作権所有者および作成者の貢献に対する謝辞の場合や彼らの書面による明示的な許可がある場合を除き、改変バージョンの推奨、支持、宣伝に使用することはできません。
- 5) フォントソフトウェアは、一部または全体の改変の有無を問わず、このライセンスに基づいて全体を配布しなければなりません。また、他のライセンスに基づいて配布することはできません。フォントをこのライセンスに基づいた状態に保つため要件は、フォントソフトウェアを使って作成されたいかなるドキュメントにも適用されません。

15.7.5.4. 停止

上記のいずれかの条件が満たされない場合、このライセンスは失効します。

15.7.5.5. 免責事項

フォントソフトウェアは「現状有姿」で提供されており、商品性、特定の目的の適合性、および著作権、特許、商標、またはその他の権利の非侵害性（を含めるがこれらに限定されない）について、明示的または黙示的な保証を一切行いません。契約上の行為、不法行為、その他フォントソフトウェアの使用や他の取り扱いによるもの、もしくはそれらに関連して発生したか否かにかかわらず、著作権所有者は、一般的損害、間接的損害、特別損害、間接的損害、偶発的損害、結果的損害を含め、いかなる請求、損害、その他の問題に対して責任を負うものではありません。

15.8. LibJPEG

本ソフトウェアの一部は、The Independent JPEG Group の成果に基づいています。

15.9. FreeTypeライブラリ

本ソフトウェアの一部は © 2009 The FreeType Project (www.freetype.org) が著作権を保有しています。 All rights reserved.

15. 10. Kakadu Software

Portions of this software are copyright © 2017 Kakadu Software Pty Ltd. All rights reserved.

15. 11. pixtran (pixtools)

© Copyright 2007 EMC Corporation. All rights reserved.

本ソフトウェアにおけるEMCおよびEMCのライセンサーの知的財産権は、本ソフトウェアが使用される地域に適用されるすべての法的理論の下で保護されています。

ABBYYは、EMCに代わってお客様に表明または保証するものではありません。ここに明示的に許諾されないすべての権利は、EMC によって留保されます。

15. 12. TWAIN Header

TWAINツールキットは「現状有姿」で提供されます。TWAINツールキットの開発者および配布者は、商品性、第三者の権利の非侵害、および特定目的の適合性に関する暗黙の保証（を含めるがこれらに限定されない）について、明示的、法定的、黙示的な保証を一切負いません。TWAINツールキットの複製、変更、配布、その他の使用によって生じる直接的、間接的、特別、付随的、または結果的損害に対し、開発者も頒布者もその責任を負いません。

15. 13. 本ソフトウェアにはサードパーティ製のソフトウェアが含まれている場合があります。かかるサードパーティ製のソフトウェアおよびライセンスに関する情報は、本ソフトウェアに付属するソフトウェアおよびドキュメンテーション（またはそのいずれか）に記載されています。

16. 準拠法

16. 1. 本ソフトウェアが米国、カナダ、メキシコ、ベリーズ、コスタリカ、エルサルバドル、グアテマラ、ホンジュラス、モンセラート、ニカラグア、パナマ、タークス・カイコス諸島、バーズン諸島、または台湾で取得された場合、本契約は米国カリフォルニア州の法令を準拠法とし、同法に基づいて解釈されるものとします。お客様は、本契約および本ソフトウェアとの関連で発生する争議については、カリフォルニア州アラメダ郡またはサンタクララ郡の連邦裁判所または州立裁判所が排他的管轄権を有することに同意するものとします。なお、本ソフトウェアが米国で取得された場合、ABBYY USA Software House, Inc. からソフトウェアを取得（購入）したことになります。
16. 2. 本ソフトウェアが日本で取得された場合、本契約は日本の法令を準拠法として同法の解釈に基づくとともに、両当事者は東京地方裁判所が排他的管轄権を有することに同意するものとします。
16. 3. オーストリア、ベルギー、ブルガリア、クロアチア、チェコ共和国、デンマーク、フィンランド、フランス、ハンガリー、イタリア、ドイツ、ルクセンブルク、オランダ、ポーランド、ポルトガル、ルーマニア、スロバキア、スロベニア、スペイン、スウェーデン、ラトビア、リトアニア、エストニア、またはこの契約の第16.4項に直接記載されていないその他のEU加盟国、あるいはスイス、ノルウェー、アイスランドまたはリヒテンシュタイン、アルバニア、ボスニア・ヘルツェゴビナ、ジョージア、イラク、イスラエル、北マケドニア共和国、トルコ、セルビア、モンテネグロ、モルドバおよびウクライナで本ソフトウェアを入手した場合、本契約は、ドイツ連邦共和国の実体法に準拠し、解釈されるものとします。ミュンヘンの管轄裁判所が本契約に関連するすべての争議に対して排他的管轄権を有するものとします。
16. 4. 本ソフトウェアをイギリスおよび北アイルランド連合王国、アイルランド共和国、ケイマン諸島、ジブラルタル、ガーンジー、マン島、ジャージー、およびイギリス領ヴァージン諸島で取得し

た場合、本契約は英国およびウェールズ法律を準拠法として同法の解釈に基づくとともに、当事者は英国およびウェールズの裁判所が排他的管轄権を有することに同意するものとします。

- 16.5. 本ソフトウェアをオーストラリア、ニュージーランド、パプアニューギニア、クリスマス諸島、ココス（キーリング）諸島、クック諸島、フィジー、ニウエ、ノーフォーク島、トケラウで取得された場合、本契約はオーストラリア国ニューサウスウェールズ州法を準拠法として同法の解釈に基づくこととし、両当事者はニューサウスウェールズ州の州裁判所および連邦裁判所が排他的管轄権を有することに同意するものとします。
- 16.6. 本ソフトウェアをロシア、ベラルーシ、カザフスタン、またはモルドバを除くその他のCIS諸国で取得した場合、本契約はロシア連邦で施行されている実体法に準拠し、これに従って解釈されるものとします。
- 16.7. 第16.6項が適用され、お客様が法人または個人起業家（自分自身で事業を行い、パートナーの構造を持たず、事業行為のすべてに関して自分自身で責任のすべてを取る個人）である場合には、本契約に起因または関連するすべての紛争については、ロシア連邦、モスクワ、アルビトラズ（Arbitrazh）裁判所が排他的管轄権を有することとします。第16.6項が適用され、お客様が個人である場合は、ロシア連邦モスクワ市のブティルスキー地方裁判所が本契約に関連するすべての争議に対して排他的管轄権を有するものとします。
- 16.8. 第16.1項～第16.7項に記載されている場合、本契約はいずれかの管轄区法令や国際物品売買契約に関する国連条約の衝突には準拠しません。後者の条約の適用は明示的に除外されます。
- 16.9. 第16.1項から第16.7項に記載のない国で本ソフトウェアが購入された場合、本契約は、お客様が本ソフトウェアを取得（購入）した国の実体法を準拠法とし、同法に基づいて解釈されるものとします。

17. 契約解除

- 17.1. お客様とABBYYによって別途の契約書で同意されていない限り、または、本契約書またはソフトウェアの関連ドキュメンテーションに別途記載がない限り、本契約の最初にある条項に同意した日から本契約が恒久的に、または適用法が許可する限り有効となります。適用法が本契約書の有効期間の記載を必要とする範囲において、本契約書は許可される限り残存しますが、いかなる場合でも少なくとも本ソフトウェアの著作権期間が経過した場合は通知なく自動的に失効します。
- 17.2. お客様が本契約に定められている条件を遵守しない場合、ABBYYはその他のいかなる権利も害することなく本契約を解除できるものとします。その場合、お客様は本ソフトウェアのコピーおよびコンポーネントをすべて破棄し、お使いのコンピュータから本ソフトウェアを削除するものとします。
- 17.3. お客様は、所有している本ソフトウェアのコピーおよびコンポーネントをすべて破棄することで本契約を解除できます。
- 17.4. かかる契約解除によって、本ソフトウェアに対するお客様の代金支払義務が免除されることはありません。定義、および第2、7、8、9、10、11、12、13、14、15、16、17、18条、および第3.4.4条は、その本契約の解除理由にかかわらず、本契約の解除または失効後も効力を発します。ただし、かかる効力の継続は、本契約の解除または失効後の本ソフトウェアの継続的使用権を意味したり、発生させたりするものではありません。

18. 雑則

- 18.1. 本ソフトウェアのアクティベーション、インストール、操作、登録および/またはテクニカルサポートおよびメンテナンスの過程で、ABBYYに特定の個人情報（氏名、住所、電子メールアドレス

、電話番号、会社名（該当する場合）など）および技術情報（お客様のハードウェアの特性、第三者のソフトウェア、お客様のソフトウェアのシリアル番号など）を提供するよう求められる場合があります。お客様は当社に個人情報や技術情報を提供しないことを選択することができますが、個人情報および/または技術情報の提供が、お客様に本ソフトウェアの技術サポートまたは保守を提供するために不可欠であるか、またはそのような技術サポートまたは本ソフトウェアの保守の要件であり、適用法に違反しない場合、お客様は個人情報や技術情報を提供したABBYYの顧客が利用可能なソフトウェアのテクニカルサポートやメンテナンスを受けることはできません。例えば、お客様にテクニカルサポートを提供する上でお客様と通信するために、ABBYYはお客様の電子メールと電話番号を処理する必要があります。お客様は、ABBYYまたはABBYYパートナーが要求する以上の個人情報を提供しないことに同意し、該当する法律によって要求される場合にデータの機密性およびデータセキュリティが守られるという前提で、ABBYYおよび/またはその関連会社またはABBYYパートナーが該当する法律を順守してお客様の個人情報を処理（収集およびその他の使用など）することに同意します。個人情報処理の詳細については、<https://www.abbyy.com/privacy>にあるプライバシーポリシーを参照してください。

- 18.2. 本ソフトウェアは定期的にABBYYのセキュアなサーバーへインターネット接続し、ソフトウェアの状態を確認したり、本ソフトウェアの動作に必要なアップデートや技術情報をダウンロードする場合があります。
- 18.3. ABBYYは、お客様が製品および企業関連のニュース、特別サービスに関する情報、製品の使用方法に関するアドバイス、その他の製品および企業関連の情報を記載したメールを受信することに同意した場合に、かかるメールをお客様に送信することがあります。お客様は、いつでもこうしたメールの受信を停止する (<https://www.abbyy.com/privacy>) ことができます。
- 18.4. お客様による本ソフトウェアの使用に関連して、お客様に対し賠償請求または訴訟が起こされた場合、お客様は実行可能であればその事実を知った時点から3日以内に書面でABBYYに通知するものとします。お客様は、ABBYY が裁判所においてかかる賠償請求または訴訟の尋問に参加できるようにあらゆる措置を講じ、全面的に協力し、ABBYYがそれらの賠償請求や訴訟の解決に利用価値があるまたは必要だと考える情報を速やかにABBYYに(ABBYYからの問い合わせの受領後 7日以内に)提供するものとします。
- 18.5. 当事者が合意した場合を除き、本契約に基づいて許諾されたソフトウェアでは対価の支払いが必要です。本契約における対価とはABBYYまたはABBYYパートナーが定めたライセンス料金のことで、ABBYYまたはABBYYパートナーが定めた方法によって支払われます。この対価は、お客様が取得する機器やハードウェアの価格に含まれているか、お客様が本ソフトウェアの完全バージョンに支払う価格の一部です。
- 18.6. 本契約の一部が無効および施行不可能であると判断された場合も、それが本契約の残りの部分の有効性に影響を及ぼすことはなく、本契約はその条件に基づいて引き続き有効かつ施行可能となります。